

# 第20回癌と骨病変研究会

第3日 7月29日(土) 13:00~15:40 第4会場(本館5F 志賀2)

**ランチョンセミナー** 13:00~13:45 (P.150)

座長: 西村 理行(大阪大学大学院歯学研究科生化学教室)

JLS 「性ステロイド・ビタミンA/Dによる転写制御研究の最近の動向」  
加藤 茂明(いわき明星大学地域連携センター/ときわ会先端医学研究センター)

**口演34「癌と骨病変(2)」** 13:50~14:40 (P.204~205)

座長: 今村 健志(愛媛大学大学院医学系研究科分子病態医学講座)

波多 賢二(大阪大学歯学研究科生化学教室)

O-200 「骨髄腫細胞は間質細胞のTAF12発現を誘導し1,25(OH)2D3による破骨細胞形成と骨髄腫細胞の増殖を惹起する」

大幡 泰久(Medicine/Hematology-Oncology, Indiana University / 大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔病態系病態制御学講座 口腔外科学第一教室 / 大阪大学大学院医学系研究科 小児科学)

O-201 「TRPV1を通じて興奮した知覚神経はHGF産生により骨内でのがんの進展および骨からの二次転移を促進する」

奥井 達雄(岡山大学病院 口腔外科病態系/インディアナ大学医学部 血液腫瘍内科)

O-202 「口腔扁平上皮癌におけるNeurokinin B / Neurokinin 3 receptorの発現とその役割の検討」

小畑 協一(岡山大学大学院医歯薬総合研究科 口腔顎顔面外科学分野)

O-203 「V-ATPaseプロトンポンプおよび酸感受性イオンチャンネルASIC3阻害は多発性骨髄腫の骨痛を緩和する」

日浅 雅博(インディアナ大学 医学部 血液腫瘍内科学/徳島大学大学院 医歯薬学研究部 生体材料工学分野)

O-204 「TRAILは破骨細胞を活性化させるが、TAK1阻害により骨髄腫細胞とともに破骨細胞にもTRAILのアポトーシス誘導活性が惹起できる」

天真 寛文(徳島大学 大学院 医歯薬学研究部 口腔顎顔面矯正学分野)

## ミニシンポジウム 「癌と骨病変」

14:40~15:40 (P.150~152)

座長：山口 朗 (東京歯科大学口腔科学研究センター)

米田 俊之 (大阪大学歯学研究科/インディアナ大学医学部血液腫瘍内科学部門)

JmS-1 「乳癌と骨転移」

石川 孝 (東京医科大学 乳腺科学分野)

JmS-2 「癌骨転移部における骨質変化」

中野 貴由 (大阪大学大学院工学研究科 マテリアル生産科学専攻)

JmS-3 「腫瘍血管の異常とがんの悪性化」

樋田 京子 (北海道大学遺伝子病制御研究所 フロンティア研究ユニット  
血管生物学研究室)

JmS-4 「造血器腫瘍と骨髄微小環境」

國崎 祐哉 (九州大学大学院医学研究院 応用幹細胞医科学部門 がん幹細胞医学分野)

共催：第35回日本骨代謝学会学術集会 / 癌と骨病変研究会